



■日 時：平成27年 6月14日(日) 午後1時30分～4時50分  
(開場 12時45分)

■会 場：西東京市民会館 1階 公会堂

(西武新宿線 田無駅北口 西へ7分 TEL：042-463-5381)

■参加費：500円(資料代共)

近代文学研究者 大和田茂と土屋忍および文化功労者 黒井千次が語る

# 「玉川上水と文学」

## 文人を魅了した玉川上水

### ● 講演1 「上水文学散歩と小説『玉川兄弟』について」

(1時30分～2時20分)



大和田 茂 氏 日本近代文学研究者

ときどき玉川上水付近を皆さんと文学散歩しています。上水のほりにある国木田独歩や太宰治などのモニュメントを紹介するとともに、杉本苑子さんの長編小説『玉川兄弟』に描かれた世界と特徴について考えます。

### ● 講演2 「近代文学にとっての玉川上水」

(2時30分～3時20分)



土屋 忍 氏 武蔵野大学教授

玉川上水は、太宰治が入水した場所として全国的に有名ですが、文学との関係はそれだけではありません。文学作品のなかに描かれた玉川上水を調査し、近代文学にとって玉川上水とは何かということを追求めた研究はおそらく皆無です。この機会に端緒を開ければと思います。

### ● 講演3 「玉川上水の感覚的記憶」

(3時20分～4時10分)



黒井 千次 氏 作家 文化功労者、日本芸術院長

子供の頃からの玉川上水との断続的な触れ合いを通して、土地と水とのかかわりを、理論的・論理的ではなく、気ままに感覚的に自作などにも触れつつ述べてみたい。その中から何が出て来るかは、自分でもわからないが…。

### ● 鼎 談 大和田 茂氏、土屋 忍氏、黒井 千次氏

(4時20分～4時50分)

● 出演者プロフィール

おおわた しげる ■大和田 茂氏

法政大学大学院修了。東京都立高校教諭などを経て、現在、法政大学・城西短期大学などの非常勤講師。日本近代文学専攻。著書に『社会文学一九二〇年代前後』、共著に『評伝平澤計七』『大正宗教小説の流行』『神経症と文学』ほか。

つちや しのぶ ■土屋 忍氏

早稲田大学政治経済学部卒、電通、東北大学大学院国際文化研究科、同大学院助手、日本学術振興会特別研究員(国文学)などを経て、現在、武蔵野大学文学部教授。文学博士。著書に『長期滞在者の異文化理解 松尾那之助』(柏書房)、『南洋文学の生成一訪れることと想うこと』(新典社)、『武蔵野文化を学ぶ人のために』(世界思想社)など。最近は、西東京を舞台にした映画製作にも携わっている。

くろい せんじ ■黒井 千次氏

東京大学経済学部卒。富士重工勤務の傍ら創作活動、1970年より文筆生活。69年『時間』で芸術選奨新人賞、84年『群棲』で第20回谷崎潤一郎賞、94年『カーテンコール』で第46回読売文学賞(小説部門)、2001年『羽根と翼』で第42回毎日芸術賞、06年『一日夢の棚』で第59回野間文芸賞をそれぞれ受賞。2000年日本芸術院会員、14年日本芸術院長に就任、文化功労者に選出された。上掲以外の著書に『働くということ』、『高高手を振る日』、『老いのかたち』、『老いの味わい』ほか多数。



主催：まなびの雑学実行委員会(NPO 法人小金井雑学大学・NPO 法人東京雑学大学)

助成：(公財)東京市町村自治調査会 多摩交流センター

問合せ：0422-52-0908 (東京雑学大学)、080-5645-1477 (小金井雑学大学)